

平成23年度
年 報

■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆平成 23 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6～7
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆統計・資料	
I 平成 23 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 23 年度 事業別利用状況	9
III 平成 23 年度 資料収集状況	10
◆組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～16
III 公益財団法人北海道文学館役員等名簿	表 3

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあっては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。
- 3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	330円	1人に 220円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	670円	1人に 550円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			57,450円
講堂	7,090円	8,860円	14,730円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	990円	1人に 850円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	1,620円	1人に 1,200円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	2,640円	1人に 2,050円 つき

■ 平成 23 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,288 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	15,063 点
	16,351 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲 覧	利用者 延 5,237 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展 覧 会 の 概 要
	常設展 北海道の文学	通年 (305 日間)	10,429	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 追悼・後藤竜二展	4/23(土) ～ 5/22(日) (26 日間)	1,789	一周忌を前に、著作や原稿・写真類を多数紹介し、児童文学ひとすじだった仕事を回顧するとともに、兄の高田三郎、妹の小泉るみ子による挿絵や絵本等兄妹 3 人の生まれ育った故郷・美唄の生活を彷彿とさせる作品を紹介。
	特別展 日が過ぎ去って 僕のみは ～福永武彦、魂の旅～	6/4(土) ～ 7/10(日) (32 日間)	2,080	「忘却の河」「死の島」などの代表作で戦後文学を代表する小説家・福永武彦の文学活動を回顧し、フランス文学をはじめ絵画や音楽にも関心を寄せた幅広い文化的背景を掘り下げ、その魂の旅ともいべき文学の世界を紹介。
	ファミリー文学館 絵本の原画を運ぼう！	7/23(土) ～ 8/28(日) (32 日間)	1,456	江戸時代に蝦夷～上方を往復し、さまざまな交流をもたらした商船、北前船の航路をたどり、「上方(京都)まで《俵もの》を運ぼう！」という全国巡回展。今回の《俵もの》は、絵本作家・あべ弘土作の「かちかち山」原画で、原画展を中心に、北前船についても紹介。
	特別展 赤色エレジーから 小梅の初恋 林 静一展	9/16(金) ～ 11/7(月) (46 日間)	4,361	一世を風靡し、歌謡曲も生まれた漫画「赤色エレジー」やロッセのキャラクター「小梅ちゃん」、夏目漱石の草枕に取材した漫画「夢枕」のほか、絵本、美人画、童画など、幅広い活動を総合的に紹介。
	特別展 李恢成の文学 — 根生いの地から 朝鮮半島・世界へ —	1/28(土) ～ 3/25(日) (50 日間)	1,652	在日二世作家として世界と日本の困難な現実から目を逸らさず、「またふたたびの道」「砧をうつ女」「百年の旅人たち」を経て、現在の自伝的大河小説「地上生活者」に到るまで、常に人間を問い続ける李恢成の文学の全体像を紹介。

【常設展プレミアム】

「森田たまの交友録 — 書簡にみる文学者たちの筆跡 —」

11月19日(土)～1月15日(日) 45日間 観覧者数 1,081人

「もめん随筆」「石狩少女」などで知られる札幌出身の随筆・小説家、森田たまは、参議院議員、きもの愛好家としても活動し、文学界、美術界、政界などに幅広い交流があり、当館所蔵の森田たま資料の中から、書簡を中心に多彩な人々との交流を紹介。

【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

・第1期展示〔4月1日(金)～7月31日(日)〕

新収蔵 久保栄資料

平成 21 年度に寄贈を受けた久保栄宛長光太葉書や自著「小山内薫」草稿、演劇関係書籍などの久保栄関係資料を紹介。

- ・第 2 期展示〔8 月 2 日(火)～11 月 30 日(水)〕

佐藤忠良と北海道の本

現代日本を代表する彫刻家佐藤忠良は、北海道ゆかりの文学者の作品の挿絵を手がけ、挿絵作家としても優れた仕事を残しており、船山馨「石狩平野」の挿絵など当館所蔵の佐藤忠良関係資料を紹介。

- ・第 3 期展示〔12 月 1 日(木)～3 月 31 日(土)〕

虹と雪のバラード—河邨文一郎

札幌冬季オリンピックの歌「虹と雪のバラード」の作詞者として知られる詩人・河邨文一郎の関係資料を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉

◆20 世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全 5 幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二月月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成 7 年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉

◆明治～昭和 20 年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和 30 年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和 40 年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者実績数(人)	備考	
	講演会・セミナー・講話等	文芸トーク「兄妹が語る後藤竜二」 講師：高田三郎(画家)、小泉るみ子(絵本作家)	4/24(日)	93	「後藤竜二展」関連事業
	〃	文芸対談「児童文学に生きた後藤竜二」 講師：あさのあつこ(作家)、津久井恵(岩崎書店編集長)	5/7(土)	98	〃
	〃	文芸トーク「父・福永武彦のこと」 講師：池澤夏樹(作家)	6/4(土)	101	「福永武彦展」関連事業
	〃	文芸講演会「福永武彦「河」を読む」 講師：田口耕平(当財団評議員)	7/2(土)	66	〃
	〃	展示室トーク「北前船あれこれ物語」 講師：鏡 啓記(北前船研究家)	7/24(日)	28	「ファミリー文学館」関連事業
	〃	上映会とサイン会 講師：林 静一(イラストレーター)	9/24(土)	77	「林静一展」関連事業
	〃	上映会「画ニメ～赤色エレジーほか」 講師：当館学芸主幹	10/9(日)	42	〃
	〃	文芸講演会「森田たまと素木しづ」 講師：山崎真紀子(札幌大学教授)	12/4(日)	42	「常設展プレミアム」関連事業
	〃	文芸講演会「根生いの地から朝鮮半島・世界へ」 講師：李 恢成(作家)	1/28(土)	107	「李恢成展」関連事業
	〃	鼎談「李恢成文学における“記憶”をめぐって」 出演：李恢成(作家)、藪 博(写真家)、永岡杜人(文芸評論家)	2/19(日)	94	〃
	〃	一人芝居「オンマの白いチョゴリ」 出演：金時江(ハンマダン主宰)	3/18(日)	60	〃
※	朗読会	「作家による朗読会」 朗読：池澤夏樹(作家)	6/10(金)	86	「福永武彦展」関連事業
	〃	「福永武彦作品を読む」 朗読：柳 寿之、田中隆子	6/26(日)	80	〃
※	連続朗読会	「海…風…を感じて」朗読：松井信子、田村英一、チェンパロ：明楽みゆき、ギター：廣田幸政	8/5(金)、8/6(土)、9/2(金)	156	
※	ウィークエンド・カレッジ	児童文学創作教室、イタリア文学等 6講座44講義	5～3月の金、土	359	
※	ロビーコンサート	アイルランド伝統楽器のアンサンブル (演奏：HARD TO FIND)	11/2(水)	34	
	文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/27(水)～29(金)	25	
	小・中学生短歌コンテスト	夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	7/1(金)～9/18(日)	2,138	
	〃	夏休み小・中学生短歌コンテスト表彰式	11/26(土)	22	
	ファミリー文学館	ワークショップ「積み荷はな～に」	7/23(土)～8/28(日)	390	ファミリー文学館関連事業
	〃	ワークショップ「絵馬を描こう！」	7/26(火)	0	事業中止
※	わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	715	
※	文学館まつり	ギャラリー文学館、文学館演芸場、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(金・祝)	589	
	映画鑑賞会	「廃市」(原作：福永武彦、1984年作品)	6/19(日)	86	「福永武彦展」関連事業

教育普及事業

事業項目	事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
教育普及事業	映画鑑賞会	「伊豆の踊子」(原作：川端康成、1954年作品)	8/28(日)	77	
	映画鑑賞会	「喜びも悲しみも幾歳月」(原作：木下恵介、1957年作品)	11/27(日)	67	
	映画鑑賞会	「伽椰子のために」(原作：李恢成、1984年作品)	2/26(日)	81	「李恢成展」関連事業
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	22市町村 23会場	1,489	
	文字・活字文化の 振興事業	「書くことと文学」 講師：月岡道晴(國學院大學准教授)	10/30(日)	27	
	※ 道民カレッジ 連携講座	3講座実施	6/5(日)、7/3(日)、 8/7(日)	134	
	※ 文化施設連携事業	「カルチャーナイト2011」 展示室の夜間開館等を実施	7/15(金)	309	
	※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	1,029	
	文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(309日間)	5,237	
	文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(305日間)	1,845	
	※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(309日間)	316	
教育普及事業参加者 計			16,099		

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「森田たまの交友録」関連資料調査
- ② 特別展「後藤竜二展」関連資料調査
- ③ 特別展「福永武彦展」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「絵本の原画を運ぼう！」関連資料調査
- ⑤ 特別展「林静一展」関連資料調査
- ⑥ 特別展「李恢成展」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の常設展プレミアム関連資料調査
- ⑨ いせひでこの関連資料調査
- ⑩ 次年度ファミリー文学館の関連資料調査
- ⑪ 新美南吉の関連資料調査
- ⑫ 戦後北海道の演劇の関連資料調査
- ⑬ 高橋揆一郎の関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 財団法人北海道生涯学習協会
「ほっかいどう学」かでの移動講座
(平成23年6月5日、7月3日、8月7日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第18回中川町短歌フェスティバル
(平成23年6月1日～10月31日 中川町)
- ③ ボランティアグループいろりばた
第11回及び第12回「いろりばたの大人も楽しむおはなし会」
(平成23年7月24日 北海道立文学館講堂)
(平成24年3月25日 北海道立文学館講堂)
- ④ ふるさと怪談トークライブ事務局
ふるさと怪談トークライブ in 北海道
(平成23年7月7日 北海道立文学館講堂)
- ⑤ 山田唯雄ギターリサイタル実行委員会
山田唯雄ギターリサイタル

- (平成 23 年 10 月 9 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ NPO 法人絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター第 16 回文化セミナー「『こどもの宇宙』に挑む」
(平成 23 年 11 月 20 日 小樽市民センター)
 - ⑦ 藤井眞吾ギターリサイタル実行委員会
藤井眞吾ギターリサイタル
(平成 23 年 10 月 30 日 北海道立文学館地階ロビー)
 - ⑧ 荒川洋治講演会実行委員会
荒川洋治講演「文学の言葉」
(平成 23 年 10 月 2 日 北海道立文学館講堂)
 - ⑨ 心音ココロンスクール 運営：(株)ル・レーブ
心音ココロンスクール講座
(平成 23 年 10 月～12 月 心音ココロンスクールホール)
 - ⑩ 「東日本大震災」被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート実行委員会
「東日本大震災」被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート
(平成 24 年 1 月 21 日 北海道立文学館地階ロビー)
 - ⑪ 円城塔文芸講演会実行委員会
円城塔文芸講演会「わたしと小説」
(平成 23 年 10 月 20 日 札幌パークホテル)
 - ⑫ ギター大好き恵子ママのホームページ
赤坂孝吉ギターリサイタル
(平成 23 年 4 月 20 日 札幌ザ・ルーテルホール)
柴田高明ギターリサイタル
(平成 23 年 4 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)
GW コンサート後夜祭
(平成 23 年 5 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)
國松竜次ギターリサイタル
(平成 23 年 6 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 85 号（5 月 24 日付）、第 86 号（8 月 10 日付）、第 87 号（10 月 28 日付）、第 88 号（2 月 1 日付）を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「福永武彦展」図録の刊行
- ② 特別展「李恢成展」図録の刊行
- ③ 「平成 22 年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」(補遺版)の編集作業
標記補遺版(人名編)発行のための編集作業を行った。この作業は平成 24 年度も継続して行う。また、「北海道文学大事典(人名編)」をホームページにアップした。
- ② 博物館実習生の受入
博物館実習生—6 名(受入期間 8 月～11 月。実習期間 2 週間)

■ 統計・資料 ■

I 平成 23 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展		特 別 展				計	
	北海道の文学	追悼・後藤竜二展	福永武彦展	ファミリー文学館	林静一展	李恢成展		
開催日数	305	26	32	32	46	50		
有 人 料	個							
	一般	1,372		830		2,112	962	5,276
	高大生	118		25		178	26	347
	小中生						1	1
	小計	1,490	0	855	0	2,290	989	5,624
	団 体							
一般	96		35		52	12	195	
高大生	2						2	
小中生							0	
小計	98	0	35	0	52	12	197	
免除・招待	8,841	1,789	1,190	1,456	2,019	651	15,946	
観覧者総数	10,429	1,789	2,080	1,456	4,361	1,652	21,767	

II 平成 23 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
展覧会事業	常設展	266	484	821	865	623	822	1,314	1,395	553	575	714	916	9,348	
	追悼・後藤竜二展	405	1,384											1,789	
	福永武彦展			1,380	700									2,080	
	ファミリー文学館				404	1,052								1,456	
	林 静一展						830	2,471	1,060					4,361	
	常設展プレミアム「森田たまの交友録」								327	496	258			1,081	
	李 恢成展										167	696	789	1,652	
														0	
														0	
	小 計	671	1,868	2,201	1,969	1,675	1,652	3,785	2,782	1,049	1,000	1,410	1,705	21,767	
	負担金事業	講演会・セミナー・講話等	93	98	181	66		77	69		42	107	94	60	887
	教育普及事業	地域連携事業「文学館出前講座」	68		181	255	237	260	87	401					1,489
		ファミリー文学館(ワークショップ、短歌コンテスト等)				147	271	2,138		22					2,578
	映画鑑賞会			86		77			67			81		311	
	文学道場				25									25	
	愛好団体の文学活動	77	78	48	334	42	172	301	139	100	100	57	397	1,845	
	資料閲覧・共同研究	403	375	638	549	486	445	463	393	364	342	358	421	5,237	
	小 計	641	551	1,134	1,376	1,113	3,092	920	1,022	506	549	590	878	12,372	
	負担金事業計	1,312	2,419	3,335	3,345	2,788	4,744	4,705	3,804	1,555	1,549	2,000	2,583	34,139	
財団自主事業	教育普及事業	講演会・セミナー・講話等			86									86	
		連続朗読会					135	21						156	
		ウィークエンド カレッジ		12	47	47	47	40	40	31	25	16	38	359	
		道民カレッジ連携講座			58	40	36							134	
		わくわく子どもランド	69	63	62	85	76	28	22	58	109	31	46	715	
		ロビーコンサート							34					34	
		カルチャーナイト2011				309								309	
		文学館たんけんクイズ	29	15	11	25	35	14	35	45	31	34	11	316	
		文学館まつり(9/23)						589							589
		公演(コンサート、朗読会)	159	166	102	85	81		192	124	52	68			1,029
	財団自主事業計	257	256	366	591	410	692	289	292	217	149	95	113	3,727	
	その他(喫茶コーナー)	201	273	326	320	224	300	340	257	143	166	214	224	2,988	
	合 計	1,770	2,948	4,027	4,256	3,422	5,736	5,334	4,353	1,915	1,864	2,309	2,920	40,854	

Ⅲ 平成 23 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

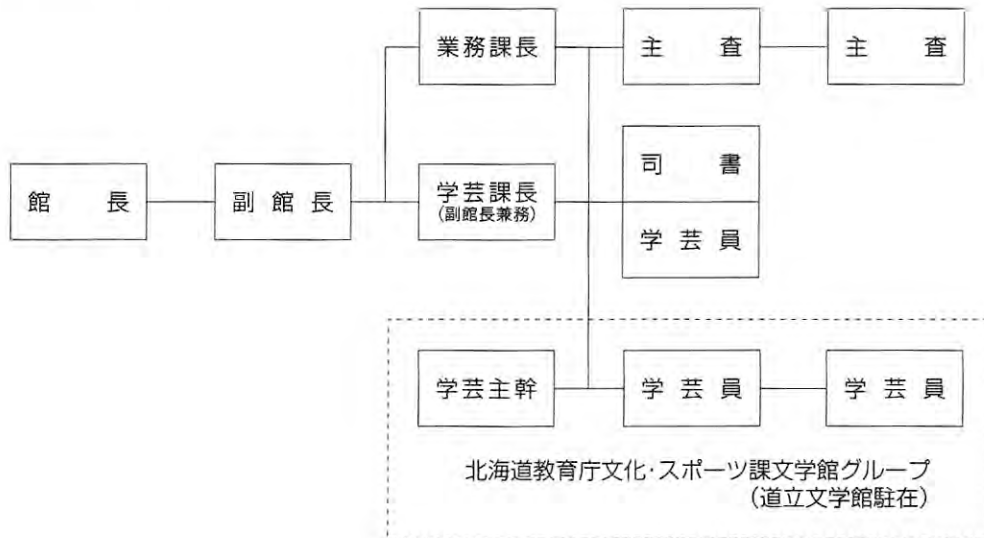
区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	717	5,137	5,854
雑 誌 資 料	555	8,890	9,445
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	3	6	9
特 別 資 料	13	1,030	1,043
計	1,288	15,063	16,351

〈主な収集特別資料一覧〉

和田芳恵直筆原稿「近代文學人國記(1) — 北海道編 —」(200 字詰 16 枚)	1 点	購入
石上玄一郎直筆原稿「『針』と『自殺案内者』」(200 字詰 6 枚)	1 点	購入
長谷川四郎直筆原稿「冬の味」(400 字詰 6 枚)	1 点	購入
長谷川四郎直筆原稿「サン・ミゲル (グラナダ)」(400 字詰 3 枚)	1 点	購入
牧逸馬直筆原稿「春宵賦」(400 字詰 3 枚)	1 点	購入
中村武羅夫「独り言」(400 字詰 4 枚)	1 点	購入
大武正人宛森田たま書簡	2 点	購入
石塚喜久三宛川端康成書簡	1 点	購入
李恢成直筆色紙	3 点	購入
清原日出夫関係書簡	2 点	寄贈
川端律子書作品	2 点	寄贈
高濱虚子朗詠レコード	1 点	寄贈
新明紫明ほか道内歌人短冊	17 点	寄贈
宇野千代ほか自筆回覧誌「啓明」	5 点	寄贈
江口榛一関係資料	24 件	寄贈
河郵文一郎未発表詩稿 (コピー)	1 点	寄贈
中山周三資料	930 件	寄贈

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名	
館長 (財団副理事長)	清原 登志夫			
副館長 (財団専務理事)	平原 一良			
業務課長 (財団常務理事)	武田 和弘			
業務課 主査	奥山 久仁彦	北海道教育庁文化・スポーツ課 文学館グループ (道立文学館駐在)		
業務課 主査	丹伊田 範子		学芸主幹	新明 英仁
学芸課 司書	三井 沙紀		学芸員	阿部 かおり
学芸課 学芸員	喜多 香織	学芸員	浅川 泰	

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展
43	文学に見る北方風物展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
44	北海道旅の文学展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
46	北海道詩歌展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壘」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
47	目で見える札幌文学散歩	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観登・人と作品展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	7	澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と		

年次	事項	年次	事項
	画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔		する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代	19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書斎から～
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展	21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」—60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。—アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む—遙か[樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学	22	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
14	神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド—きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～	23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉み子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録—書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～		
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
18	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅		

II 諸会議・運営日誌

平成23年

- 4月8日(金) 公演「こころのコンサート」
4月15日(金) 臨時評議員会(財団)
4月21日(木) 文学館出前講座(千歳市、講師:岸田典大)
4月23日(土) 特別展「追悼・後藤竜二展」オープン(～5月22日)
4月23日(土) わくわくこどもランド(絵本作家あべ弘士さんの朗読とお話)
公演「柴田高明マンドリンコンサート」
4月24日(日) 文芸トーク「兄妹が語る後藤竜二」、講師:高田三郎、小泉のみ子
5月4日(水) 公演「GWギターコンサート後夜祭」
5月5日(木) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」)
5月7日(土) 文芸対談「児童文学に生きた後藤竜二」、講師:あさのあつこ、津久井恵
5月20日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:小笠原治嘉)
5月27日(金) 運営検討委員会(財団)
6月2日(木) 監事監査(財団)
6月4日(土) 特別展「日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～」オープン(～7月10日)
文芸トーク「父・福永武彦のこと」、講師:池澤夏樹
わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居)
公演「國松竜次ギターコンサート」
6月5日(日) 道民カレッジ・かでの移動講座「斉藤茂吉と北海道」、講師:内田 弘
6月8日(水) 文学館出前講座(芦別市、講師:斉藤征義)
6月9日(木) 理事会(財団)
6月10日(金) 朗読会「作家による朗読会」、朗読:池澤夏樹
文学館出前講座(幕別町、講師:当館学芸員)
6月11日(土) ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師:工藤正廣)
文学館出前講座(伊達市、講師:館野直光)
6月15日(水) 全国博物館長会議(文部科学省、館長出席)
6月16日(木) 全国文学館協議会(日本近代文学館、副館長出席)
6月17日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:小笠原治嘉)
文学館出前講座(大空町、講師:斉藤征義)
6月18日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読教室、講師:田村英一)
ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師:瀬戸正昭)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師:工藤知子)
公演「こころのコンサート」
6月19日(日) 映画鑑賞会「廃市」(原作・福永武彦、1984年)
6月24日(金) 定時評議員会(財団)
6月25日(土) ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの「詩の
こころ」、講師:松田ヒシグスレン)
6月26日(日) 朗読会 朗読:榊 寿之、田中隆子
7月2日(土) 文芸講演会「福永武彦「河」を読む」、講師:田口耕平
わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居)
道民カレッジ・かでの移動講座「宮澤賢治について」、講師:斉藤征義
7月3日(日) 文学館出前講座(礼文町、講師:岸田典大)
7月7日(木) ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師:工藤正廣)
7月9日(土) 文学館出前講座(恵庭市、講師:田村英一)
7月12日(火) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:升井純子)
7月15日(金) カルチャーナイト2011(常設展の開館時間延長、たそがれ俳句吟行会、古書バザール、
ミニ色紙づくり、ライブ・コラボレーション)
7月16日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読教室、講師:田村英一)
ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師:瀬戸正昭)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師:工藤知子)
7月23日(土) ファミリー文学館「絵本の原画を運ぼう! ～現代版北前船の旅 あべ弘士・かちかち
山」オープン(～8月28日)
ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの「詩の
こころ」、講師:松田ヒシグスレン)
文学館出前講座(和寒町、講師:いいだともき)
7月24日(日) 展示トーク「北前船あれこれ物語」、講師:鏡 啓紀

- 7月27日(水) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也
7月28日(木) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也
7月29日(金) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也
7月31日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「うちわをつくろう!」)
わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
公演「しの笛コンサート」
- 8月3日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
8月4日(木) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
8月5日(金) 連続朗読会「海・風・を感じて」、朗読：松井信子、チェンバロ演奏：明楽みゆき
文学館出前講座(旭川市、講師：田村英一)
- 8月6日(土) わくわくこどもランド(夏休みスペシャル「お話しとアフリカンドラム演奏」)
連続朗読会「海・風・を感じて」、朗読：松井信子、チェンバロ演奏：明楽みゆき
道民カレッジ・かでの移動講座「声に出して読む本の楽しさ」、講師：館野直光
- 8月7日(日) 文学館出前講座(雨竜町、講師：夏〇、当館職員)
8月9日(火) 文学館出前講座(喜茂別町、講師：岸田典大)
8月10日(水) 公演「アコースティックなゆうべ」
8月11日(木) 公演「こころのコンサート」
8月12日(金) ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師：工藤正廣)
8月13日(土) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
8月19日(金) ウィークエンド・カレッジ(朗読教室、講師：田村英一)
8月20日(土) ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師：瀬戸正昭)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
- 8月24日(水) 文学館出前講座(倶知安町、講師：岸田典大)
8月27日(土) ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの「詩の
こころ」、講師：松田ヒシグスレン)
- 8月28日(日) 映画鑑賞会「伊豆の踊子」(原作・川端康成、1954年)
9月2日(金) 連続朗読会「海・風・を感じて」、朗読：田村英一、ギター演奏：廣田幸政
9月3日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居)
文学館出前講座(紋別市、講師：館野直光)
- 9月10日(土) ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師：工藤正廣)
ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの「詩の
こころ」、講師：松田ヒシグスレン)
- 9月16日(金) 特別展「赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展」オープン(～11月7日)
ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
- 9月17日(土) ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師：瀬戸正昭)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
- 9月20日(火) 文学館出前講座(壮瞥町、講師：斉藤征義)
9月22日(木) 文学館出前講座(乙部町、講師：岸田典大)
9月23日(金) 文学館まつりの開催(常設展の無料開放、文学館演芸会、ギャラリー文学館、一日限りの
資料公開ほか)
- 9月24日(土) 上映会「画ニメ～赤色エレジー」とサイン会、講師：林静一
10月1日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居)
文学館出前講座(置戸町、講師：いいだともき)
- 10月8日(土) ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師：瀬戸正昭)
ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師：工藤正廣)
- 10月9日(日) 上映会「画ニメ～赤色エレジーほか」、講師：当館学芸主幹
公演「山田唯雄ギターリサイタル」
公演「あきのこもりうた」
- 10月10日(月) 全国文学館協議会展示情報部会(理事長、館長、副館長、業務課長、司書出席)
10月14日(金) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
10月15日(土) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
10月21日(金) ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの「詩の
こころ」、講師：松田ヒシグスレン)
文学館出前講座(倶知安町、講師：館野直光)
- 10月28日(金) 企画検討委員会
10月30日(日) 文芸講演会「書くことと文学——仮名文字以前の和歌と散文」、講師：月岡道晴
公演「藤井眞吾コンサート」

- 11月1日(火) 芸術週間(～7日、常設展料金無料)
 11月2日(水) ロビーコンサート「アイルランド伝統楽器によるアンサンブル」(出演：HARD TO FIND)
- 11月3日(木) 文学館出前講座(厚真町、講師：クレヨンカンパニー)
 11月5日(土) わくわくこどもランド(秋のスペシャル「音楽付読み聞かせ」)
 11月7日(月) 北海道文化賞贈呈式(館長出席)
 11月11日(金) 理事会(財団)
 11月12日(土) ウィークエンド・カレッジ(大長編読書会、講師：工藤正廣)
 11月18日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
 11月19日(土) 常設展プレミアム「森田たまの交友録——書簡にみる文学者たちの筆跡」オープン(～1月15日)
 ウィークエンド・カレッジ(愛と癒しのベートーヴェン、講師：瀬戸正昭)
 ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
 文学館出前講座(弟子屈町、講師：クレヨンカンパニー)
 文学館出前講座(小樽市、講師：いいだともき)
 公演「チェンバロコンサート」
- 11月22日(火) 公演「こころのコンサート」
 11月23日(水) 文学館出前講座(留萌市、講師：夏〇、当館職員)
 11月24日(木) 文学館出前講座(札幌市、講師：岸田典大)
 11月26日(土) 夏休み小中学生短歌コンテスト表彰式
 11月27日(日) 映画鑑賞会「喜びも悲しみも幾歳月」(原作・木下恵介、1957年)
 11月29日(火) 文学館出前講座(黒松内町、講師：クレヨンカンパニー)
 12月3日(土) ウィークエンド・カレッジ(青い草原の国の女流詩人が語る、日本とモンゴルの“詩のこころ”、講師：松田ヒシグスレン)
- 12月4日(日) 文芸講演会「森田たまと素木しづ——二人の同級生が世に出るまで」、講師：山崎眞紀子
 12月11日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう!」)
 12月16日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
 12月17日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
 12月20日(火) 企画検討委員会
 12月23日(金) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル「紙芝居、ボードビル」)
 12月27日(火) 公演「こころのコンサート」
- 1月8日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「カルタをつくろう!」)
 1月20日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：升井純子)
 1月21日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
 公演「東日本大震災被災地応援コンサート」
- 1月28日(土) 特別展「李恢成の文学——根生いの地から朝鮮半島・世界へ」オープニング(～3月25日)
 文芸講演会「根生いの地から朝鮮半島・世界へ」、講師：李恢成
- 2月4日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居)
 2月17日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：柴村紀代)
 2月18日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
 2月19日(日) 鼎談「李恢成文学における“記憶”をめぐって」、出演：李恢成、藪博、永岡杜人
 2月24日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：山田白百合)
 運営検討委員会
- 2月26日(日) 映画鑑賞会「伽椰子のために」(原作：李恢成、1984年)
 3月2日(金) 理事会(財団)
 3月3日(土) わくわくこどもランド(ひなまつりスペシャル「絵本の読み聞かせ、紙芝居」)
 3月16日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：加藤多一)
 3月17日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師：工藤知子)
 3月18日(日) 一人芝居「オンマの白いチョゴリ」、出演：金時江
 3月23日(金) 評議員会(財団)

III 公益財団法人北海道文学館役員等名簿

(平成24年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	木村 敏男	山口 昌男	山名 康郎	<6名>
参与	朝倉 賢	加藤 多一	木村真佐幸	小杉 捷七	佐々木 譲	鈴木 光彦	
	高畠 二郎	谷口亜岐夫	藤堂志津子	永井 浩	永田 富智	原子 修	
	樋口 游魚	比良 信治	村井 宏	村田 俊秋	八子 政信	吉田 秋陽	
	米坂ヒデノリ						<19名>

役職員

理事長 1	神谷 忠孝	監事 1	清水 憲之	評議員 1	東 延江	評議員 25	平野 温美
副理事長 2	小檜山 博	// 2	野坂 幸弘	// 2	阿知良光治	// 26	松嶋 東洋
// 3	辻脇 系一			// 3	飯塚 優子	// 27	安高 誠吾
// 4	清原登志夫			// 4	石本 裕之	// 28	山崎真紀子
専務理事 5	平原 一良			// 5	植松美由紀	// 29	若宮 明彦
常務理事 6	武田 和弘			// 6	笠井 嗣夫	// 30	和田 由美
理事 7	内田 弘			// 7	菊地 寛		
// 8	岡崎 守			// 8	岸 美千代		
// 9	片山 晴夫			// 9	熊谷ユリヤ		
// 10	工藤 正廣			// 10	桜井 健治		
// 11	國松明日香			// 11	佐藤 将寛		
// 12	斉藤 征義			// 12	佐野 良二		
// 13	柴村 紀代			// 13	柴橋 伴夫		
// 14	瀬戸 正昭			// 14	高橋 明雄		
// 15	立花 峰夫			// 15	高橋 秀明		
// 16	谷 暎子			// 16	滝谷 泰星		
// 17	出村 文理			// 17	田口 耕平		
// 18	本田 優子			// 18	田中 綾		
// 19	前川公美夫			// 19	谷口 孝男		
// 20	源 鬼彦			// 20	知里むつみ		
// 21	森 一生			// 21	中澤千磨夫		
				// 22	中館 寛隆		
				// 23	中村 三春		
				// 24	橋本 征子		

運営検討委員会

<委員4名+副理事長1名>

副理事長	小檜山 博	}
理事 1	内田 弘	
// 2	斉藤 征義	
// 3	谷 暎子	
// 4	前川 公美夫	

収集資料選定評価専門委員会

<5名>

参与 1	谷口 亜岐夫	}
// 2	村田 俊秋	
理事 3	工藤 正廣	
// 4	立花 峰夫	
// 5	出村 文理	

企画検討委員会

<委員12名+副理事長1名>

副理事長	辻脇 系一
理事 1	工藤 正廣
// 2	柴村 紀代
// 3	立花 峰夫
// 4	源 鬼彦
// 5	森 一生
評議員 6	阿知良 光治
// 7	佐野 良二
// 8	谷口 孝男
// 9	知里 むつみ
// 10	松嶋 東洋
// 11	若宮 明彦
// 12	和田 由美

平成23年度年報（平成25年1月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266